

さいたま 日本共産党 市議団 ニュース

No.1012
2024.2.11

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
ご意見・ご要望はこちらにお寄せください

発行 松村 としお とば めぐみ
久保 みき たけこし 連
金子 あきよ 池田 めぐみ



2024年度予算要望に 市長が回答

党市議団が昨年10月に提出した「2024年度市政運営及び予算編成に関する要望書（736項目）」に対するさいたま市の回答書が、1月29日、清水勇人市長から手渡されました。

はじめに市長から、2024年度予算編成の柱とおもな項目について報告があり、予算総額は約1兆1816億円（前年度比528億円増）で、過去最高の予算額となることが明らかにされました。

要望項目に対する市長の回答では、●不登校児童生徒への支援について、市内6カ所の教育相談室・教育支援センターにおいて、1人ひとりの状況に応じて専門職等による相談を充実させていくこと、●医療的ケア児を受け入れる認可保育所に対して、市単独事業による人件費に係る助成をおこない、「さいたま市医療的ケア児保育支援センター」において未就学の医療的ケア児や家族に対して相談等の支援を実施していくこと、●地球温暖化対策の推進に向か、新たに設置した「さいたま市脱炭素推進委員会」を中心に具体的な施策について検討し、温室効



果ガス排出量削減を進めていくことなどが示されました。しかし、党市議団がかねてから要望してきた、大型公共事業の計画などを見直し、中止して、税金の使い方を市民が求める公共サービスや事業の財源中心に切り替えることについては、明確な回答はなく、あくまでも計画どおりに進める姿勢です。

要望した736項目に対する回答全体の精査はこれからとなります。2月6日からは2月議会がはじまり、2024年度当初予算が審議されます。元日に起こった能登半島地震を受け、災害への対応が注目を集めているなか、市長からも激甚災害への対策強化が予算の柱の一つとして言及されました。市の回答を受け、松村としお市議（団長）は、「物価高のもとで市

2月議会がはじまります

2月6日（火）から3月14日（木）まで、2月議会が開催されます。2月13～15日で代表質問がおこなわれ、党市議団から松村としお、たけこし連の両市議が質問にたちます。

代表質問予定（※変更の可能性があります）



2/15（木）
11:00～11:50
松村としお市議



2/15（木）
13:00～13:40
たけこし連市議

- ①市民の声を反映する市政へ
- ②公共サービスについて
- ③子育て支援の拡充について
- ④ジェンダー平等のさいたま市へ
- ⑤公共交通の充実について

- ①市庁舎移転について
- ②予算の組み替え提案について
- ③与野中央公園5000人アリーナ建設等について

2月議会は新年度（2024年度）の予算を決める予算委員会が開かれます。左記事にもあるように、清水市長から全体で約1兆1816億円、一般会計、全会計予算総額ともに過去最大の予算規模となる予算案が提案されました。予算委員会は2月22日（木）からスタートし、3月11日（月）までおこなわれます。党市議団の予算委員は金子あきよ、とばめぐみの両市議です。

3件の意見書（案）を提出

市議団として3件の意見書（案）を提出しました。全会派一致となれば、国に送致されます。

- 政治資金規正法改正と疑惑の全容の徹底解明を求める意見書（案）
- 子どもの歯科矯正を保険診療の対象とするすることを求める意見書（案）
- 国の制度として小中学校の学校給食費を無償とするよう求める意見書（案）

民の生活は厳しい状況が続いているため、命や暮らし、営業を支えていくとりくみを進めるために、

党市議団として2月議会でも提案をしていきたい」と表明しました。

スクールダッシュボード

試験的導入がはじまる

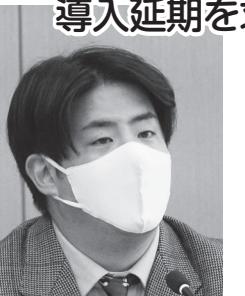
さいたま市教育委員会（以下、市教委）は2月から、市立小中学校にてスクールダッシュボード（以下、SD）の試験的導入を行い、4月から本格運用を予定しています。市教委は導入目的を「教職員の負担軽減と、児童生徒の調子や授業の理解度を補助的に把握するために活用する」としていますが、課題は山積しています。

SDは、児童生徒に毎日「おはようメーター」と「授業アンケート」の記入を求めます。「おはようメーター」は朝の会に①心の天気（よい・ややよい・ふつう・ややわるい・わるいの5段階）②からだの調子③朝ごはんを食べたかどうか④就寝時間の4項目を記入させます。「授業アンケート」は毎授業後におこない、子どもたちに授業の理解度を記入させます。その他、テストの点数や通知表、タブレットでの学習記録などを一元管理し、教員がそれらのデータをもとに指導に生かしていく、としています。

党市議団は12月18日、市教委に対して、十分な準備期間がないことや、個人情報の提供

に関する不同意が表明できることなどを指摘し、SDの導入中止を求める申し入れをおこないました。その後、1月29日には党市議団としてレクチャーを受け、画面を見ながら運用や教員・児童生徒の動作を確認しました。レクに参加した金子あきよ市議は「毎日、朝の会や授業ごとに児童生徒がタブレットに入力するのは負担が大きいと思うが、児童生徒と保護者への説明があまりにも不足している」と話しました。

導入延期を求める請願に賛成



文教委員会には市民の方からSDの導入延期を求める請願が出され、1月30日に閉会中審査がおこなわれました。

たけこし連市議は「①児童生徒の心の調子など機微な情報の取り扱いへの危惧②デジタルデータを通してのみの生徒との人間関係構築への懸念③保護者への説明が不足しており、誰がなんのためにデータを取るのか共通認識がないまま実施することへの懸念④国のデジタル庁が今後、児童の個人情報をさまざまなデータと紐づけることを検討している（市教委は現段階でのデータの拡大利用については否定）ことへの懸念などがある。試験導入から2カ月余で本格導入というのはあまりに性急」と主張し、請願に賛成しました。しかし、立憲、自民、公明などの会派の反対で、不採択となりました。

地下鉄7号線延伸

860億円から 1300億円に急増

1月24日に地下鉄7号線延伸事業特別委員会が開かれ、浦和美園駅から岩槻駅に延伸する建設費が従来の860億円から1300億円へ大幅に増え、建設期間も18年が見込まれることが報告されました。

建設費用は都市鉄道等利便促進法にもとづく国の補助（3分の1）が受けられれば鉄道事業者（埼玉高速鉄道）と自治体（県・市）が3分の1（約430億円）ずつ負担します。市は費用の引き下げに努力しましたが、物価・資材高騰や建設労働者の賃上げによるさらなる費用増も見込まれます。埼玉高速鉄道の経営や運賃への影響も未知数です。

委員会に出席した松村としお市議は「地下鉄7号線の延伸は市自身が860億円でも『巨額のプロジェクト』と言ってきたが1300億円にもなった。完成も20年先では地元の期待に応えられない。計画は断念し、コミュニティバスやデマンド交通など身近な公共交通網の充実に予算を回すべきだ」と話しました。

あなたの身近な市議会議員です



緑区
松村としお



桜区
久保みき



南区
金子あきよ



見沼区
とばめぐみ



中央区
たけこし連



浦和区
池田めぐみ

西部環境センター

停止が3年延びる



さいたま市のごみ焼却施設は西部環境センター、東部環境センター、クリーンセンター大崎、桜環境センターの4カ所あります。さいたま市は老朽化した西部環境センターと東部環境センターの2施設を統廃合し、東部環境センターの場所に新たにサーマルエネルギーセンターを整備し、2025年の供用開始にむけて進めてきました。

西部、東部ともに1日に300トンのごみ処理能力がありますが、サーマルエネルギーセンターは1日420トンの処理能力です。4カ所の焼却施設を3カ所にしていくためには、ごみの減量が必要です。ところが思うように減量が進まず、2025年に稼働停止予定だった西部

環境センターを3年間、稼働を続ける（ごみ減量が進めば、1年を経過した時点で稼働停止予定）ことを決めました。

西部環境センターがなくなても、市民のごみ出し（決まった曜日に収集所に出す）は変わりません。ごみ焼却の余熱を利用した施設「西楽園」も今までどおり利用できます。ただ、直接西部環境センターにごみを持ち込むことができなくなります。ご注意ください。